

令和4年度 第3学年 国語年間学習計画

学期	学習内容	年間学習目標
1	よく聞いて、じこしょうかい どきん つづけてみよう きつつきの商売 図書館たんていだん 国語辞典を使おう 漢字の広場1 春のくらし 漢字の音と訓 もっと知りたい、友だちのこと 漢字の広場2 言葉で遊ぼう こまを楽しむ 全体と中心 気持ちをこめて「来てください」 漢字の広場3 まいごのかぎ	【知識及び技能】 ○日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。 【思考力・判断力・表現力等】 ○筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをまとめることができるようにする。 【学びに向かう力・人間性等】 ○言葉がもつよさに気付くとともに、幅広く読書をし、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。
2	俳句を楽しもう こそあど言葉を使いこなそう 引用するとき 仕事のくふう、見つけたよ 夏のくらし はじめて知ったことを知らせよう 鳥になったきょうりゅうの話 わたしと小鳥とすずと 夕日がせなかをおしてくる 山小屋で三日間すごすなら ポスターを読もう へんとつくり ローマ字 ちいちゃんのかげおくり 修飾語を使って書こう 秋のくらし はんで意見をまとめよう 漢字の広場4 すがたをかえる大豆 科学読み物での調べ方 食べ物のひみつを教えます	
3	ことわざ・故事成語 漢字の意味 短歌を楽しもう 漢字の広場5 三年とうげ たから島のぼうけん 冬のくらし 詩のくふうを楽しもう カンジーはかせの音訓かるた 漢字の広場6 ありの行列 つたわる言葉で表そう これがわたしのお気に入り コンピュータのローマ字入力 わたしたちの学校じまん モチモチの木	
〈授業の工夫〉 ○言葉の抑揚や強弱、語句、文や文章、言葉使いなど、日常生活に必要な国語の知識・技能の定着を図り、他教科との関連を意識できるようにします。 ○学習内容に合った言語活動を工夫することにより、児童が意欲的に自分の思いや考えをまとめながら学習できるようにします。 ○家庭学習で行ったことを学校で復習し、友達の意見を聞きながら共通理解を図ります。		
〈評価について〉 ○言葉の特徴や使い方、話や文章に含まれている情報の扱い方、我が国の言語文化に関する知識・技能を習得しているか。 ○日常生活における人々との関わりの中で思いや考えを伝え合う力を高め思考力や想像力を養っているか。 ○言葉がもつよさに気付くとともに、言語感覚を養い、思いや考えを伝え合おうとしているか。 以上のことを、単元ごとのテストや授業での発言内容、ノートや少人数での提出物、授業での発言内容、作文、発表、グループや学級全体での話し合い活動の様子などを基に評価します。		
〈学習方法など〉 ○漢字の定着を図るため、漢字ドリルや漢字学習ノートを使います。 ○物語文などでは、文章全体の構成や内容の大体を意識しながら音読ができるよう、『音読カード』を使って家庭学習を継続していきます。 ○幅広く読書に親しめるよう、ゆめのくに図書館の本や中央図書館図書ネット便を活用します。		

令和4年度 第3学年 社会年間学習計画

学期	学習内容	年間学習目標
1	1 わたしたちのすんでいるところ (1)わたしたちの住んでいるまちのようす (副読本) 2 わたしたちのくらしとまちではたらく人びと (1)店ではたらく人びとの仕事 (2)工場ではたらく人びとの仕事 (教科書・副読本)	【知識及び技能】 ○身近な地域や市区町村の地理的環境、地域の安全を守るための諸活動や地域の産業と消費生活の様子、地域の様子の移り変わりについて、人々の生活との関連を踏まえて理解するとともに、調査活動、地図帳や各種の具体的資料を通して、必要な情報を調べまとめる技能を身に付けるようにする。
2	3 安全なくらしを守る (1)安全なくらしを守る人びとの仕事 (教科書・副読本)	【思考力・判断力・表現力等】 ○社会的事象の特色や相互の関連、意味を考える力、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断する力、考えたことや選択・判断したことを表現する力を養う。
3	4 今にのこる昔とくらしののうつりかわり (1)昔の道具と人びとのくらし (2)昔からつたわる行事 (教科書・副読本)	【学びに向かう力・人間性等】 ○社会的事象について、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、思考や理解を通して、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚を養う。
〈授業の工夫〉 ○実際に地域の人に会い、インタビューや体験を通して自分の街のよさを体験します。 ○問題を解決するために様々な資料を用いて説明したり話し合ったりしていきます。 ○活動を通して気付いたことを、新聞をはじめ様々な形で発表していきます。		
〈評価について〉 ○単元ごとのテストによる評価とともに、日々の授業の中で取り組む態度や発言、学習のまとめなどから、一人一人の関心や理解の状況を評価します。 ○学習したことを確認して振り返り、これからの地域社会について考えようとする意識を評価します。		
〈学習方法など〉 ○学習への関心を広げ、理解を確かなものにしていくために、校外学習に行ったり、家庭学習で地域に関した情報を家の人に尋ねたりして、学習につながる様々な活動を計画し、実施します。		

令和4年度 第3学年 算数年間学習計画

学期	学 習 内 容	年 間 学 習 目 標
1	1 九九を見なおそう 2 時こくと時間のもとめ方を考えよう 3 同じ数ずつ分けるときの計算を考えよう 4 大きい数の筆算を考えよう ※考える力をのばそう 5 長い長さをはかって表そう 6 数をよく見て暗算で計算しよう 7 わり算を考えよう	【知識及び技能】 ○数の表し方、整数の計算の意味と性質、小数及び分数の意味と表し方、基本的な図形の内容、量の概念、棒グラフなどについて理解し、数量や図形についての感覚を豊かにするとともに、整数などの計算をしたり、図形を構成したり、長さや重さなどを測定したり、表やグラフに表したりすることなどについての技能を身に付けるようにする。
2	8 10000より大きい数を調べよう 9 大きい数のかけ算のしかたを考えよう 10 わり算や分数を考えよう ※どんな計算になるのかな？ 11 まるい形を調べよう ※新しい算数プラス 12 数の表し方やしくみを調べよう 13 重さをはかって表そう 14 分数を使った大きさの表し方を調べよう	【思考力・判断力・表現力等】 ○数とその表現や数量の係に目し、必要に応じて具体物や図などを用いて数の表し方や計算の仕方などを考察する力、平面図形の特徴を図形を構成する要素に目して捉えたり、身の回りの事象を図形の性質から考察したりする力、身の回りにあるものの特徴を量に目して捉え、量の単位を用いて的確に表現する力、身の回りの事象をデータの特徴に目して捉え、簡潔に表現したり適切に判断したりする力などを養う。
3	15 □を使って場面を式に表そう 16 かけ算の筆算を考えよう ※倍の計算 17 三角形を調べよう 18 わかりやすく整理して表そう ※そろばん ※考える力をのばそう ※3年のふくしゅう ※新しい算数プラス	【学びに向かう力・人間性等】 ○数量や図形に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気付き生活や学習に活用しようとする態度を養う。
〈授業の工夫〉 ○既習の知識及び技能と結びつけながら、新しい学習にも生かせる技能となるよう指導します。 ○問題解決の過程や結果を伝え合う機会を設け、互いの考えをよりよいものにしたり、一人では気付けない新たなことを見いだしたりする機会が生まれることを経験できるようにします。 ○具体物、図、数、式を用いてそれらを可視化し、学習理解の定着を図ります。		
〈評価について〉 ○既習の知識及び技能を踏まえて、基本的な数量や図形の内容及び意味、性質を確実に理解しているか、数理的な処理や表現の基礎となる技能を習得しているか。 ○「数と計算」「図形」「測定」「データの活用」において必要に応じて具体物を操作しながら考察したり、簡潔に表現したり、適切に判断したりしているか。 ○数量や図形に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気付き生活や学習に活用しているか。 以上のことを単元ごとのテストや学習の様子、発表、ノートのとり方やコンパス、定規の使い方などを基に評価します。		
〈学習方法など〉 ○算数の学習内容の定着を図るために、既習内容の復習プリントを継続的に取り組みます。 ○計算処理の確実な定着を図るために、ドリル学習やプリント学習を繰り返し行い、多くの問題に触れることができるようにします。 ○個に応じた指導を行うため、学習内容ごとにレディネステストの結果をもとに習熟度別少人数指導を実施します。		

令和4年度 第3学年 理科年間学習計画

学期	学 習 内 容	年 間 学 習 目 標
1	しぜんのかんさつ 植物を育てよう かげと太陽 チョウを育てよう わたしの自由研究	【知識及び技能】 物質・エネルギー ○物の性質、風とゴムの力の働き、光と音の性質、磁石の性質及び電気の回路についての理解を図り、観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 生命・地球 ○身の回りの生物、太陽と地面の様子についての理解を図り、観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 【思考力・判断力・表現力等】
2	こん虫をしらべよう 実ができるころ 音をつたえよう 光を調べよう 風のはたらき ゴムのはたらき 明かりをつけよう	物質・エネルギー ○物の性質、風とゴムの力の働き、光と音の性質、磁石の性質及び電気の回路について追究する中で、主に差異点や共通点を基に、問題を見いだす力を養う。 生命・地球 ○身の回りの生物、太陽と地面の様子について追究する中で、主に差異点や共通点を基に、問題を見いだす力を養う。 【学びに向かう力・人間性等】
3	じしゃくのひみつ ものの重さを調べよう 科学者のでん記を読もう 3年生で学んだこと	物質・エネルギー ○物の性質、風とゴムの力の働き、光と音の性質、磁石の性質及び電気の回路について追究する中で、主体的に問題解決しようとする態度を養う。 生命・地球 ○身の回りの生物、太陽と地面の様子について追究する中で、生物を愛護する態度や主体的に問題解決しようとする態度を養う。
〈授業の工夫〉 ○生活科の学習との関連を考慮し、体験的な活動を多く取り入れます。 ○自然の事物・現象の差異点や共通点を基に、問題を見いだすといった問題解決の力を育成できるよう、「理科としての見方・考え方」を指導します。 ○問題を追究していくという理科の学習の仕方を身に付けることができるよう配慮します。		
〈評価について〉 ○単元ごとのテストによる評価と合わせて、観察や実験の予想、計画や結果などを記したノートやワークシート、学習のまとめなどからも評価します。 ○比較しながら調べる活動を通して、差異点や共通点を基にして、問題を見だし、表現したことを評価します。 ○観察や実験に対する態度や発言などから主体的に問題解決しようとする態度、生命を愛護する態度を評価します。		
〈学習方法など〉 ○学習の中で扱う昆虫や植物を学習の対象とするだけでなく、実際に自然に接する活動も大切にします。 ○日頃から地域の自然に親しむ機会を多く設け、自然や生き物への関心が深まるように、ご家庭でもご協力をお願いします。 ○学習の定着を再確認するために、タブレットを活用し、視覚的に学んでいきます。		

令和4年度 第3学年 音楽年間学習計画

学期	学 習 内 容	年 間 学 習 目 標
1	○音楽で心をつなげよう 友だち ○歌って音の高さをかんとろう ドレミで歌おう 春の小川 海風きって せんりつづくり 茶つみ ○リコーダーのひびきをかんとろう ピタゴラスイッチ 小鳥のために 練習1・2・3・4 きれいなソラシ きらきら星 坂道/雨上がり/アチャ パチャ ノチャ	【知識及び技能】 ○曲想と音楽の構造などとの関わりについて気付くとともに、表したい音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、音楽づくりの技能を身に付けるようにする。 【思考力・判断力・表現力等】 ○音楽表現を考えて表現に対する思いや意図をもつことや、曲や演奏のよさなどを見いだしながら音楽を味わって聴くことができるようにする。 【学びに向かう力・人間性等】 ○進んで音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、様々な音楽に親しむとともに、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養う。
2	○拍にのってリズムをかんとろう ゆかいな木きん 手拍子でリズム うさぎ ○せんりつのとくちょうをかんとろう とどけよう このゆめを あの雲のように ふじ山 ○曲のかんじを生かそう メヌエット 山のポルカ 帰り道 ○いろいろな音のひびきをかんとろう トランペットふきの休日/アレグロ パフ おかしのすきな まほう使い まほうの音楽	
3	○ちいきにつたわる音楽でつながろう 祇園囃子/ねぶた囃子 神田囃子 ラドレの音でせんりつづくり ○音の重なりをかんじて合わせよう 歌おう 声高く かね エーデルワイス	
〈授業の工夫〉 ○自分の表したい音楽表現ができるように、段階的に学習します。 ○様々な音楽に親しみ、曲や演奏のよさを得られる教材を用意します。 ○友達と音楽活動をする楽しさを大切にしながら、自分の感じたことや表現を進んで伝え合う場を多く設定します。		
〈評価について〉 ○題材の表現や技能だけでなく、進んで音楽活動に取り組んでいるかを評価します。 ○音楽表現を考え、どのように歌ったり、演奏したりするか思いや意図をもって工夫している様子を音楽活動や学習カードを通して評価します。 ○友達との音楽活動を楽しみながら進んで取り組んだり、音楽に対する様々な感じ方や考え方があることを認めたりする様子を評価します。		
〈学習方法など〉 ○感染症対策を十分に言いながら、様々な活動方法を工夫します。 ○長期休業中には、技能習熟のためにリコーダーを持ち帰り、家庭練習をするように計画します。		

令和4年度 第3学年 図画工作年間学習計画

学期	学 習 内 容	年 間 学 習 目 標
1	とびだすカード くぎうちとんとん 私の7月の絵 しぜんの色 ようきのへんしん ふきあがる風にのせて みじかなしぜんの形・色 パタパタひらくと	【知識及び技能】 ○対象や事象を捉える造形的な視点について自分の感覚や行為を通して分かっている。 手や体全体を十分に働かせ材料や用具を使い、表し方などを工夫して、創造的につくったり表したりしている。 【思考力・判断力・表現力等】 ○形や色などの感じを基に、自分のイメージをもちながら、造形的なよさや面白さ、表したいこと、表し方などについて考えるとともに、豊かに発想や構想をしたり、身近にある作品などから自分の見方や感じ方を広げたりしている。 【学びに向かう力・人間性等】 ○つくりだす喜びを味わい進んで表現したり鑑賞したりする学習活動に取り組もうとしている。
2	小さな自分のお気に入り 切っかきだしてくっつけて 絵のぐ、水、ふで、いいかんじ ことばから形、色 ゴムゴムパワー ねんどマイタウン 土でかく マグネットシート	
3	ひもひもワールド ぬのををつないで	
〈授業の工夫〉 ○主体的・意欲的に造形活動に取り組めるよう毎時間「めあて」を示し見通しがもてるようにします。 ○各学年の発達段階に応じて、題材を組み立て、表現の楽しさを味わえるようにしていきます。		
〈評価について〉 ○一人一人の活動の様子や作品の制作過程から、本人の思いや創意工夫を見ていきます。 ○一人一人が見方や感じ方を広げていけるように、鑑賞の時間を設定し、記述内容を見ていきます。 □2学期の評定は、1学期の評価も加えて行います。		
〈学習方法など〉 ○児童の作品を定期的に廊下へ掲示し、友達の作品のよさを学び合える環境作りをしていきます。		

令和4年度 第3・4学年 体育年間学習計画

学期	学 習 内 容	年 間 学 習 目 標
1	体ほぐし運動 体の動きを高める運動(柔軟・巧み) かけっこ・リレー 体力テスト 多様な動きをつくる運動 運動会に向けて 水泳の安全について・水泳運動 幅跳び・投の運動(3年)	【知識及び技能】 ○各種の運動の楽しさや喜びに触れ、その行い方及び健康で安全な生活や発育・発達について理解するとともに、基本的な動きを身に付けるようにする。 【思考力・判断力・表現力等】 ○自己の運動や身近な生活における健康の課題を見付け、その解決のための方法や活動を工夫するとともに、考えたことを他者に伝える力を養う。 【学びに向かう力・人間性等】 ○各種の運動に進んで取り組み、きまりを守り誰とでも仲良く運動をしたり、友達の考えを認めたり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで努力して運動をする態度を養う。また、健康の大切さに気付き、自己の健康の保持増進に進んで取り組む態度を養う。
2	短距離走・リレー 保健 心の健康 鉄棒運動 ゴール型ゲーム(ポートボール等) ベースボール型ゲーム(ティーボール等) マット運動 体力を高める運動 保健 健康な生活(3年)	
3	体の動きを高める運動 (柔軟・巧み・力強さ・持続) 持久走 跳び箱運動 ネット型ゲーム(ソフトバレー等) ゴール型ゲーム(タグラグビー等)	
〈授業の工夫〉 ○基礎的な体力や運動感覚を身に付けるための運動を繰り返し行い、体力や技能を伸ばします。 ○各種の運動について、みんなが楽しめるようなルールや動きを考えたり、伝えたり工夫することを重視します。 ○勝敗や競争(走)を取り入れたり、学習カードなどに記録を記載したりすることで技能の向上や体力の高まりが感じられるようにします。		
〈評価について〉 ○運動技能や知識のほか、思考力・判断力・表現力、学びに向かう力・人間性を評価します。 ○運動の楽しさを味わうための工夫や、自分の能力に応じた目標に向けた努力の様子を評価します。また、学習カードも用い、自己評価や児童相互の評価をする。		
〈学習方法など〉 ○授業時間は運動量をしっかり確保します。ICT機器や教材を用いながら自己の課題をつかみ、課題にあった活動を選択することで、課題解決に取り組みます。また、考えたことを友達に伝える活動を取り入れ、学び合いの時間を大切にします。		

令和4年度 第3学年 外国語活動年間学習計画

学期	学 習 内 容	年 間 学 習 目 標
1	Let'sTtry! Unit 1 Hello! あいさつをして友だちになろう Let'sTtry! Unit 2 How are you? ごきげんいかが? Let'sTtry! Unit 3 How many? 数えてあそぼう	【知識及び技能】 ○外国語を通して、言語や文化について体験的に理解を深め、日本語と外国語との音声の違い等に気付くとともに、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しむようにする。 【思考力・判断力・表現力等】 ○身近で簡単な事柄について、外国語で聞いたり話したりして自分の考えや気持ちなどを伝え合う力の素地を養う。 【学びに向かう力・人間性等】 ○外国語を通して、言語やその背景にある文化に対する理解を深め、相手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。
2	Let'sTtry! Unit 4 I like blue. すきなものをつたえよう Let'sTtry! Unit 5 What do you like? 何が好き? Let'sTtry! Unit 6 Alphabet アルファベットとなかよし Let'sTtry! Unit 7 This is for you. カードをおくろう	
3	Let'sTtry! Unit 8 What's this? これなあに? Let'sTtry! Unit 9 Who are you? きみはだれ?	
〈授業の工夫〉 ○CDやDVD、英単語カードの活用、対話をする活動を多く取り入れ、児童が楽しめる授業をめざします。 ○外国語専科と英語指導アシスタントが協力し、主にコミュニケーション能力の育成をめざします。		
〈評価について〉 ○活動の様子や振り返りカードから、聞いた音を模倣して話そうとしているか、学習した言葉を使って話そうとしているか、相手の顔を見て明瞭な声で話そうとしているかなどを評価します。		
〈学習方法など〉 ○外国語活動では、英語音声や文字などをたくさん聞かせたり、見せたりすることを多く行い（インプット）、英語で「伝えたいな!」「話したいな!」と思う気持ちを育てます。そして、英語を使って自分の思いを音声や文字に表して伝える活動（アウトプット）を行っていきます。		

令和4年度 第3学年 特別の教科 道徳年間学習計画

学期	学 習 内 容	年 間 学 習 目 標
1	道徳の時間とは よりよい学校生活、集団生活の充実 礼儀 節度、節制 善悪の判断、自律、自由と責任 公正、公平、社会正義 正直、誠実 友情、信頼 相互理解、寛容 親切、思いやり 勤労、公共の精神 生命の尊さ 自然愛護	(「第3章 特別の教科 道徳」の「第1 目標」) 第1章総則の第1の2の(2)に示す道徳教育の目標に基づき、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。 【第3学年及び第4学年重点目標】協働 ○身近な人と協力し助け合うこと ○集団や社会のきまりを守り、正しいと判断したことを進んで行おうとすること
2	勤労、公共の精神 規則の尊重 節度、節制 生命の尊さ 相互理解、寛容 友情、信頼 家族愛、家庭生活の充実 親切、思いやり 感謝 規則の尊重 公正、公平、社会正義 個性の伸長 感動、畏敬の念 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度 国際理解、国際親善	【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方について考える】 という3つの観点を想定し、教材に応じてそのうちの2つの観点を取り上げている。 (1) 年間を以下の4つの「学習のまとまり」に分けています。 ・4月から5月の学習のまとまり…自己を見つめる。 ・6月から9月の学習のまとまり…他者との関わりを見つめる。 ・10月から12月の学習のまとまり…より広く人や社会との関わりについて考える。 ・1月から3月の学習のまとまり…成長する自己と向き合う。
3	個性の伸長 正直、誠実 よりよい学校生活、集団生活の充実 善悪の判断、自律、自由と責任 家族愛、家庭生活の充実 感謝 生命の尊さ 希望と勇気、努力と強い意志	(2) 学習指導要領に示された内容項目(第3・4学年)は、それぞれの学年において網羅されています。
〈授業の工夫〉 ・道徳の授業では、生活経験の異なる児童一人一人が教材文の登場人物の生き方について話し合って考えることを通して、自己の生き方について考えを深めていくことを大切にします。 ・道徳コーナーの設置、道徳ファイルの活用を通して学習の連続性を重視し、振り返りや自己評価、道徳的価値の理解を深める一助とします。チームティーチング・ゲストティーチャーを有効に活用し授業の活性化に努めます。		
〈評価について〉 道徳科の目標「道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習」が実現できていたかを評価します。そのために、授業中の発言や話し合いの様子、ワークシートへの記述をもとに肯定的評価をします。		
〈学習方法など〉 教科書とワークシートを使って学習します。 学習の流れ ①教材文の状況を把握する②登場人物の思いを共通理解する③授業の中心で考えさせたいこと(場面)について、より深く話し合えるよう話し合い活動を行う。④これまでの自分を振り返り、自己を見つめる。		

令和4年度 第3学年 総合的な学習の時間年間学習計画

学期	学習内容	年間学習目標
1	＜かいこのひみつをさがろう＞ かいこについて調べ、実際に育てる。 ＜I Love としま＞ 豊島の特色アニメに関するものを調べる。サンシャインのアニメイベント、アニメのまち池袋、トキワ荘とそこに住んでいた漫画家たちを調べ、発信する。	【知識及び技能】 ○自分の生活や身近な地域にかかわる探求的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付けるとともに、地域の特徴やよさが分かり、それらが人々の努力や工夫によって支えられていることを理解する。
2	＜地域安全マップを作ろう＞ 自分たちの地域の安全なところ、危険なところを見付け、安全マップを作り、低学年に発信する。	【思考力・判断力・表現力等】 ○自分の生活や身近な地域の中から問いを見いだし、その解決に向けて見通しをもって調べ、集めた情報を整理、分析し、根拠を明らかにしてまとめ・表現する力を身に付ける。
3	＜昔のくらし大発見＞ 昔のくらしの様子や道具を調べる。昔の人の工夫を知り、感想を伝え合う。	【学びに向かう力・人間性等】 ○自分の生活や身近な地域についての探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、持続可能な社会を実現するための行動の仕方を考え、自ら社会に参画しようとする態度を養う。
＜授業の工夫＞ ○学習を振り返ったり、深めたり、広げたりすることができるよう、個別学習だけではなく、グループ学習の場を設定します。 ○ICTを活用して調べ学習を行ったり、発表したりします。 ○体験学習を大切にして、他教科と関連させて学習を進めます。		
＜評価について＞ ○テストは行わずに、発表やプレゼンテーションなどの表現、話し合い・学習や活動の様子、ワークシート・ノート・絵などの制作物のまとめ方、児童の自己評価や相互評価などを評価します。 ○通知表には、活動の様子や児童が努力していたところを文章で記述します。		
＜学習方法など＞ ○以下の探究的な学習の一連の過程を繰り返していきながら、自己の課題を解決していきます。 ①課題の設定…体験活動などを通して、課題を設定し課題意識をもちます。 ②情報の収集…各教科等で身に付けた資質・能力を生かしながら、必要な情報を取り出したり、収集したりします。（自分で見る・人から聞く・図書やインターネットで調べるなど） ③整理・分析…収集した情報を、整理したり分析したりして思考します。 ④まとめ・表現…気づきや発見、自分の考えなどをまとめ、表現します。		